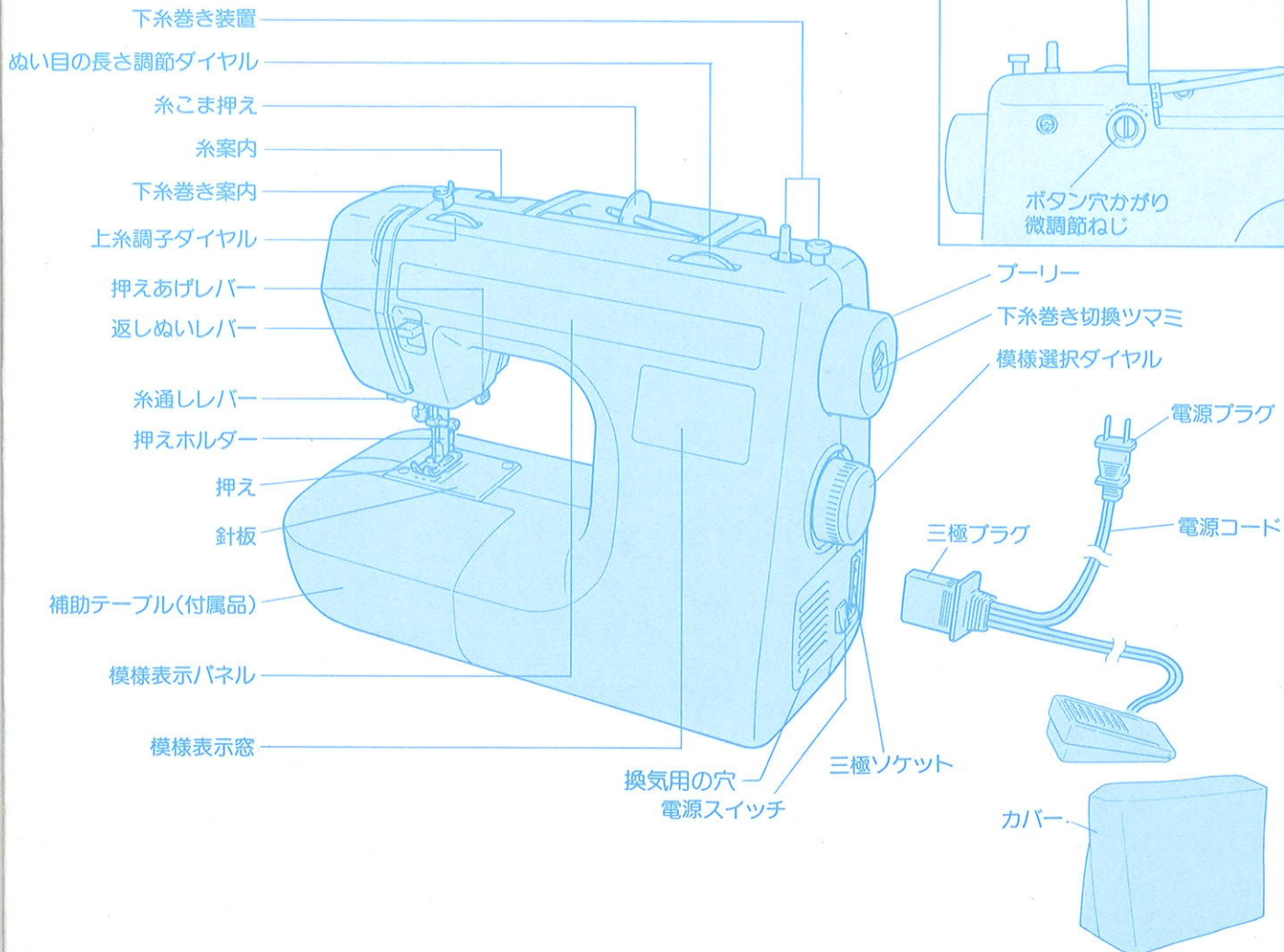


取扱説明書

ZZ3-B394

- ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みにになり正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。



- 電源コード
- 電源スイッチ
- プーリー
- 押えあげレバー
- フリーアームにするには
- 模様選択ダイヤル
- ぬい目の長さ調節ダイヤル
- 速度調節
- 返しぬいボタン
- 送り歯カバー

A

ぬう前の知識

- 下糸の準備
- 上糸のかけ方
- 糸通し装置の使い方
- 下糸の引き出し方

B

糸の通し方

- 基本操作
- 糸調子
- 押えの付け替え方
- 片押えの使い方
- まつりぬい押えの使い方
- 裁ち目かがり押えの使い方
- ボタン穴かがり押えの使い方

C

ぬってみましょう

- 針の交換
- ランプの交換
- お手入れ
- 注油
- トラブルチェック

D

ミシンを大切に

- 付属品
- 糸と針の選択早見表
- ぬい方早見表
- アフターサービス



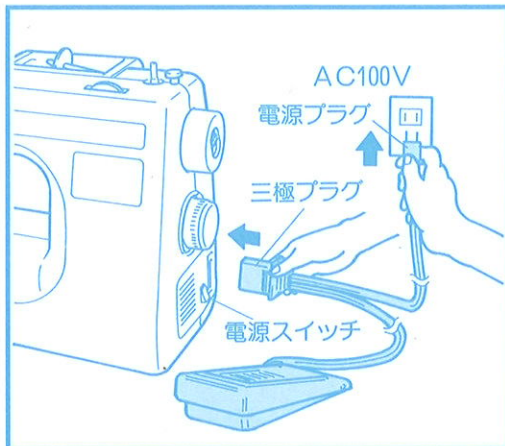
A

ぬう前の知識

ミシンを大切に



プーリーを手前に回して、針を上げます。

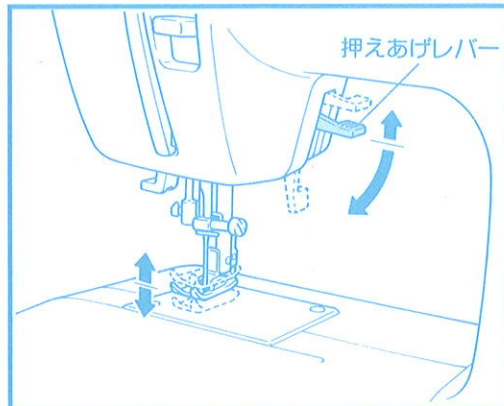
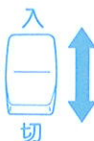


電源コード

- 電源プラグは、しっかりと差し込んでください。
- ミシンを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

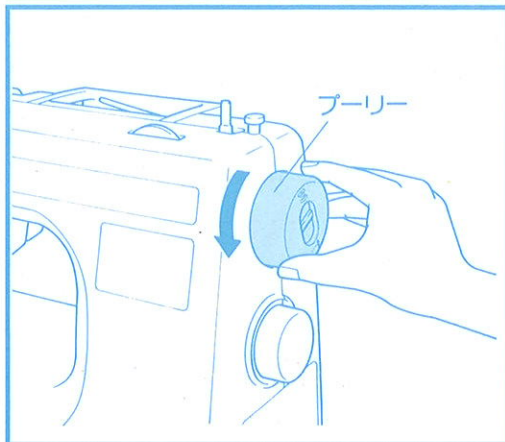
■電源スイッチ

- 押え・針・ランプの交換時は、電源スイッチを切ってください。



押えあげレバー

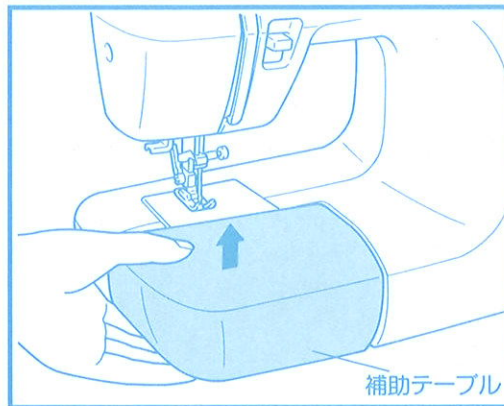
レバーを下げると押えが下がり、布地を押さえます。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。



プーリー

プーリーを回すと、針が上下します。

- プーリーは、必ず手前側に回してください。
- 模様選択する場合は、必ず針を布地より上にしてください。



フリーアームにするには

下糸をセットするときや筒物ぬいの際は、補助テーブルを上へ上げ、取り外しますと、フリーアームになります。

糸の通し方

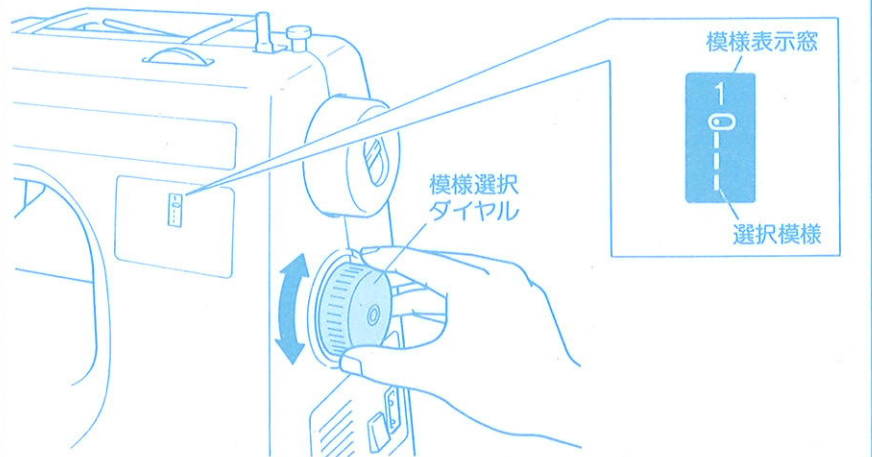
B

模様選択ダイヤル



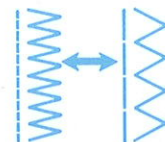
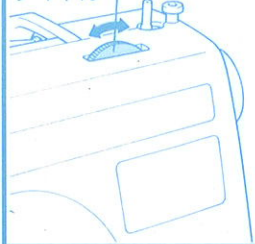
模様選択ダイヤルを回して、模様選択をします。

- 模様選択ダイヤルは、必ず針が布地から上がっていることを確認してから回して下さい。針が布地に刺さったまま模様選択しますと針が曲がったり、折れたりする場合があります。



選択模様	b ac c	d	1	2	3	4	5	6	7	8	9
押え記号	A	J	J	J	J	J	J	J	L	G	J

ぬい目の長さ調節ダイヤル

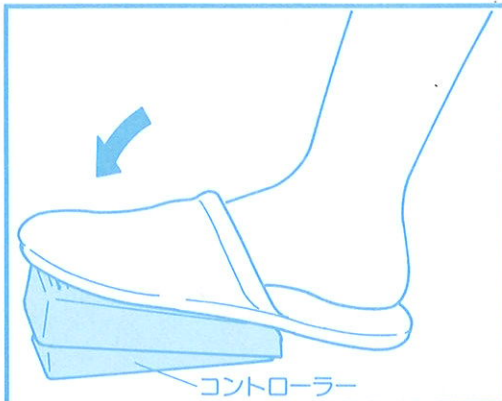


ぬい目の長さ調節ダイヤル

1針1針のぬい目の長さを変化させることができます。

- 模様番号<3>と<8>は調節できません。

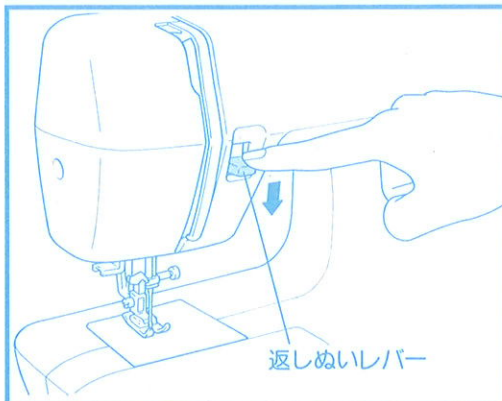
速度調節



コントローラは強く踏むほど速くなります。

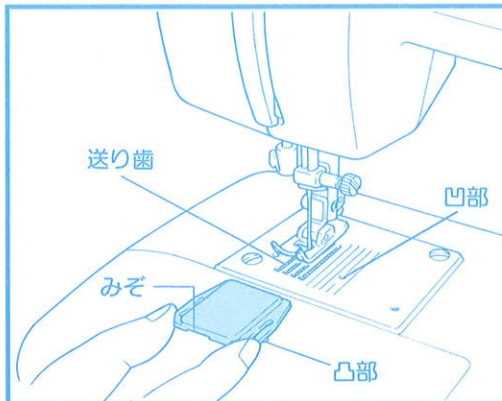
- ※ 初心者の方はミシンになれるまで、かるく(おそい)で踏んでください。
- ※ コントローラの上にものをのせないでください。

返しぬいレバー



レバーを下げている間は返しぬいを行います。

送り歯カバー



凹部と凸部を合わせます。取りはずすときは、みぞにつめをあて、はね上げてください。

- ※ ボタン付けなどのときに使ってください。

B

糸の通し方



プーリーを手前に回して、針を上げます。



押えを上げます。



コントローラーを踏んでスタートします。



プーリーを手前に回します。



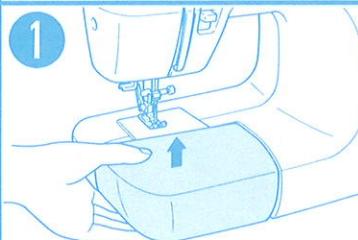
押えを下げます。



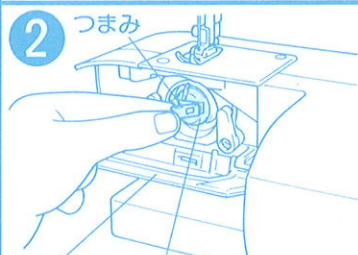
コントローラーから足を離してストップします。

■下糸の準備

補助テーブルを取りはずします。



ボビンケースを取りはずします。



かまふた ボビンケース

ボビンを取り出します。



4

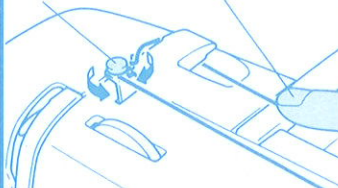
糸こま押え



5

ここで糸を押さえ、糸を張りぎみにすると糸かけがやすくなります。

下糸巻案内

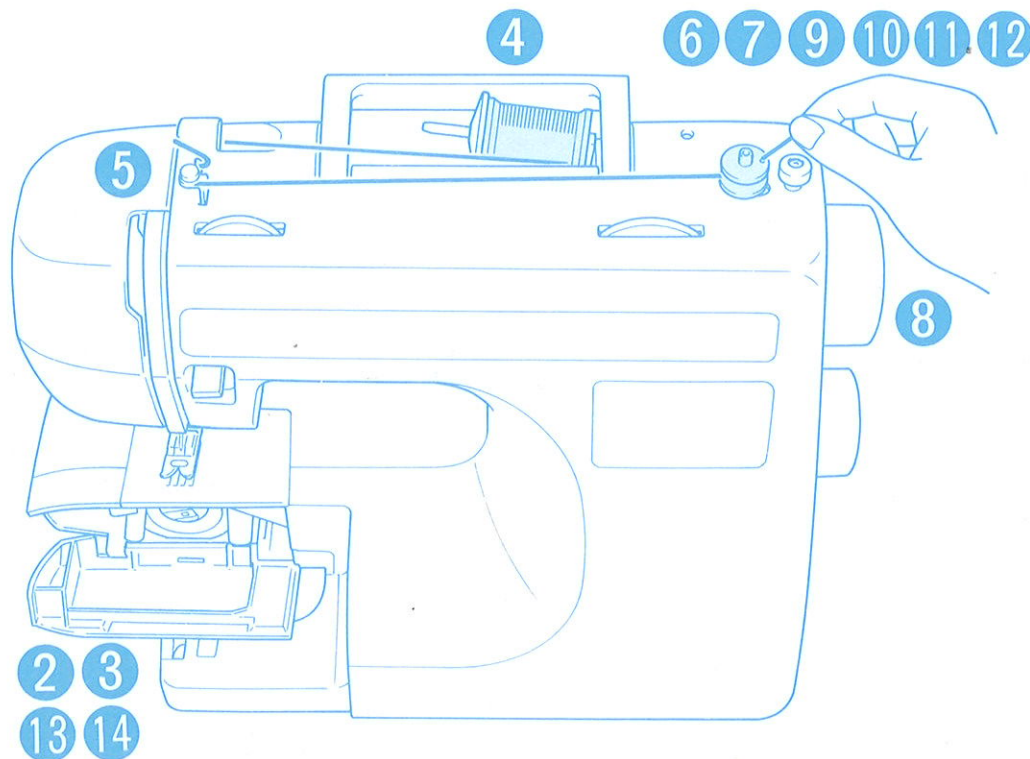
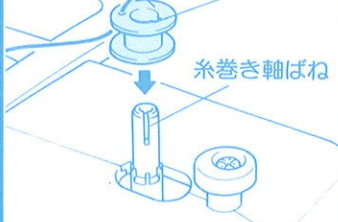


6

ボビン

切りかけ

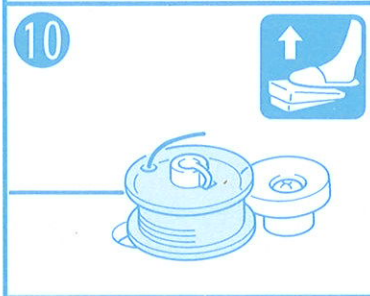
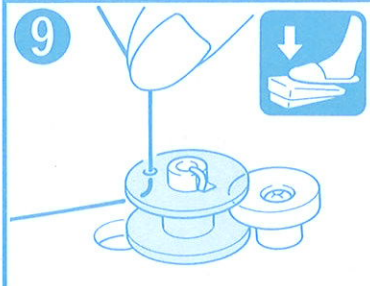
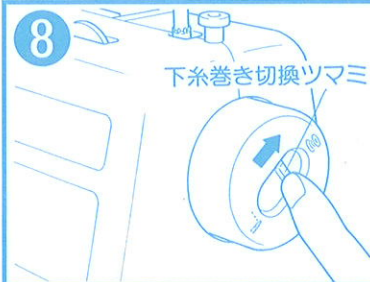
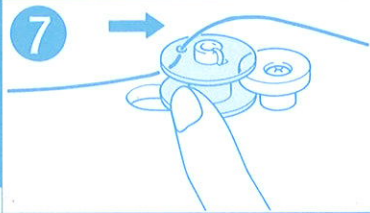
糸巻き軸ばね



糸こまを入れ、糸こま押えをセットします。

下糸巻き案内にかけます。

ポビンの小穴に糸を通し、切りかけと糸巻き軸ばねを合わせてしっかりはめます。



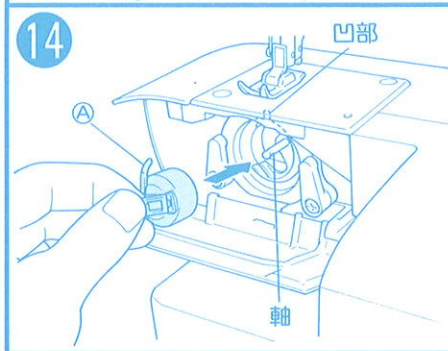
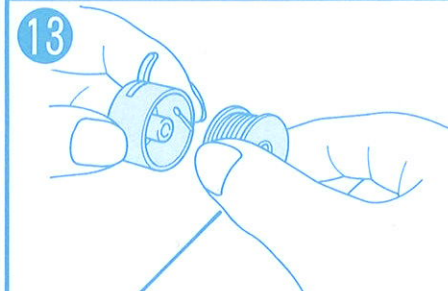
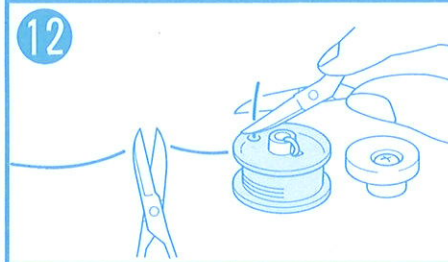
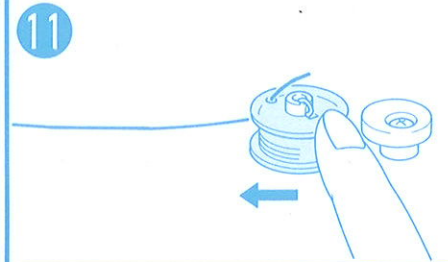
ポビンを右へスライドさせます。

下糸巻き切換ツマミを下のイラスト側にします。

- 下糸巻き切換ツマミは止まるまでいっぱいにはスライドさせて下さい。

糸端を持ってコントローラーを踏み込みます。

巻き終わるとポビンの回転は止まります。コントローラーから足を離します。



ポビンを左へもどします。

糸端を切り、ポビンをはずします。

- 下糸を巻き終わったら、下糸巻き切換ツマミを下のイラスト側に止まるまでいっぱいにはスライドさせて下さい。

つまみを閉じて入れます。糸を、切りみぞから調子ばねの下へくぐらせます。

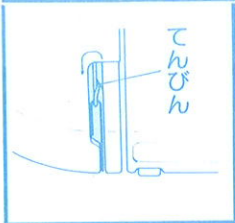


- 糸は右巻きになるように。

つまみを持って、軸へいっぱいには差し込みます。ポビンケースの凹部とミシンの凹部が合うように差し込みます。

- しっかりセットされていないと、ミシンの始動とともにポビンケースがとび出します。

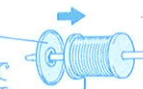
■上糸のかけ方



2 プーリーを回しててんびんを上げる

■糸こまを糸が手前から出るようにセットします。

糸こま押え



※糸こま押えは、奥までしっかりと差し込んでください。糸こま押え(大)と(小)は、糸こまの大きさに合わせてお使いください。

6 てんびんにかける

4 糸案内にかける

3 糸こまをセット

ここで糸を押さえ、糸を張りぎみにすると糸かけがしやすくなります。

7

5

1 押えを上げる

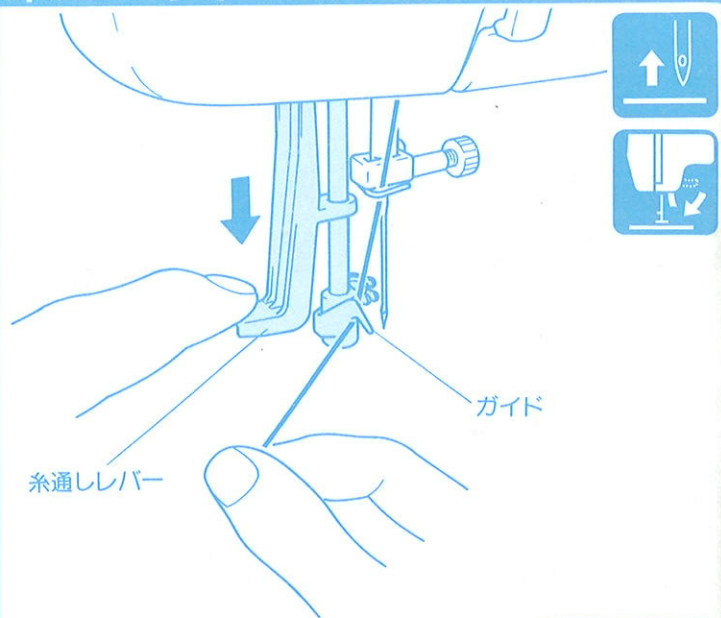
8 押えを下げる

9 針に通す
(糸通し装置を使うと便利です)

注

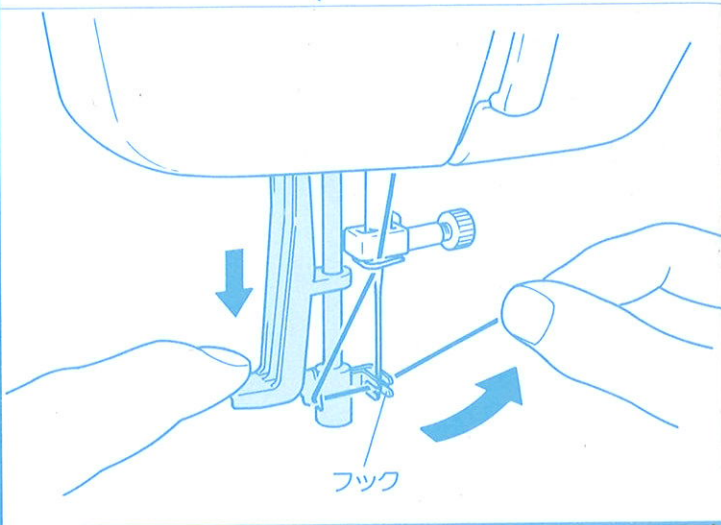
①をしないと、糸がらみの原因になります。

糸通し装置の使い方



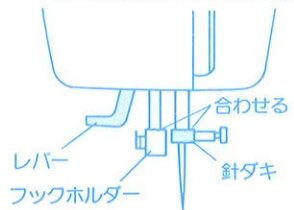
糸通しレバー

ガイド

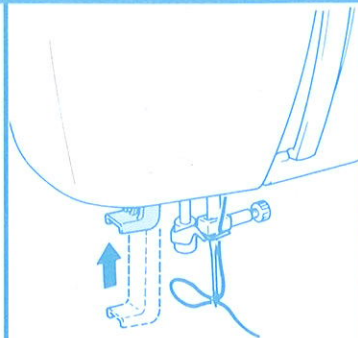


フック

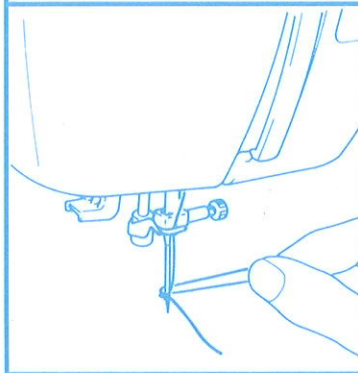
A プーリーを手前に回転させ、針ダキの上面とフックホルダーの上面の高さを合わせます。



B 糸通しレバーを下げながら、糸をガイドにかけます。



C 糸通しレバーをさらに下まで下げ、糸をフックにかけます。
●糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。

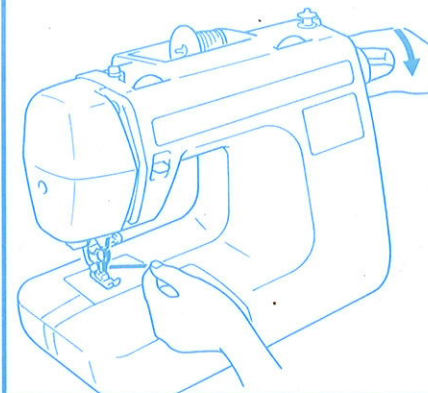


糸通し装置は、針11～16番の範囲でご利用下さい。なお、針と糸の適正な組み合わせは、糸と針の選択早見表を参照して下さい。また、ナイロン透明糸は上記に関係なく、針14～16番の範囲内でご使用下さい。

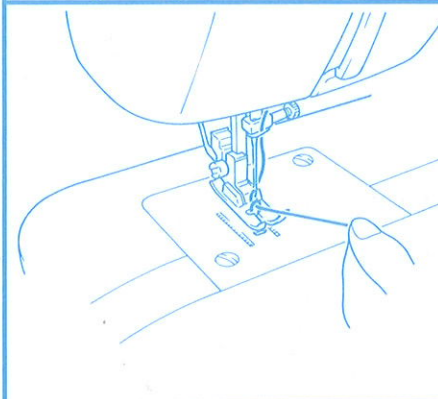
D 糸をかるく持ちながら、糸通しレバーを上げます。

E 上糸をうしろへ引き出します。

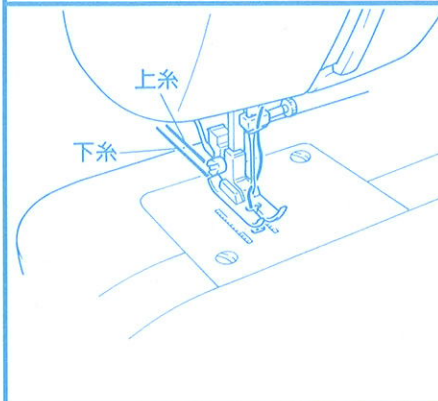
■下糸の引き出し方



1 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり1回転させ、針を上げます。



2 上糸を引きながら下糸を引っ張り出します。



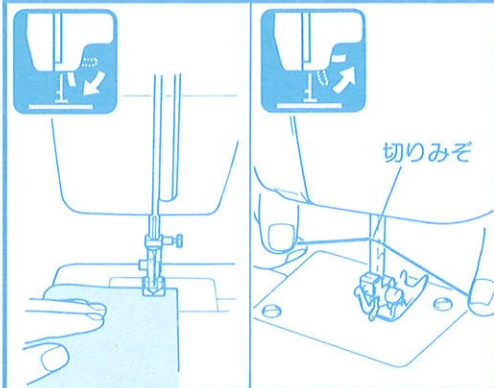
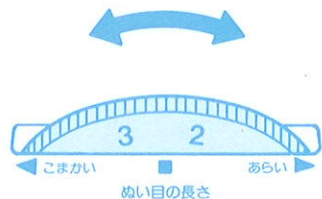
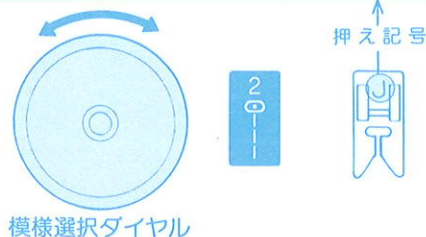
3 上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

ぬってみましょう



■基本操作

選択模様	b 	ac 	d 	1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9
押え記号	A			J	J	J	J	J	J	L	G	J

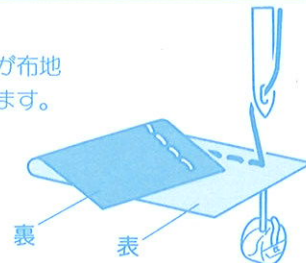


- 1 模様選択ダイヤルで模様を指定します。
- 2 指定した模様に合わせて、押えを付け替えます。
(押え付けの替え方 参照)
- 3 ぬい目の長さをお好みに調節します。
●模様番号<3>と<8>は調節できません。
- 4 布地を入れ、押えを下げます。
- 5 スタートします。
●手はかるく布地に添えます。
- 6 ぬい終わりに近づいたら、スピードをおとしてストップします。
- 7 押えを上げ、糸を切ります。

■糸調子

■正しい糸調子

上糸と下糸の交差が布地と布地の間にできます。



糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなく、布地にしわがよったり糸が切れたりします。

■上糸が強い場合

上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。



上糸調子ダイヤル

①弱くする
※数字を小さくします。

②強くする

③もう1度下糸の強さに上糸調子ダイヤルを合わせてください

ポビンケース



■上糸が弱い場合

上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。



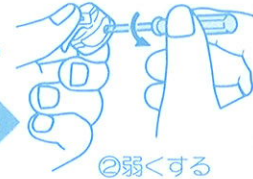
上糸調子ダイヤル

①強くする
※数字を大きくします。

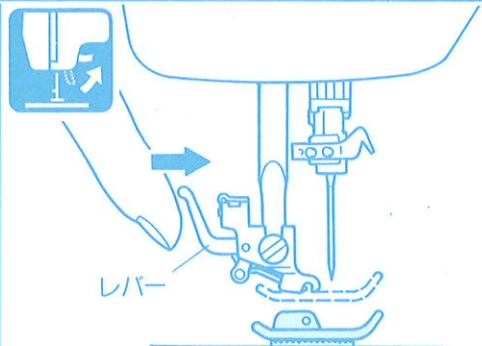
②弱くする

③もう1度下糸の強さに上糸調子ダイヤルを合わせてください

ポビンケース

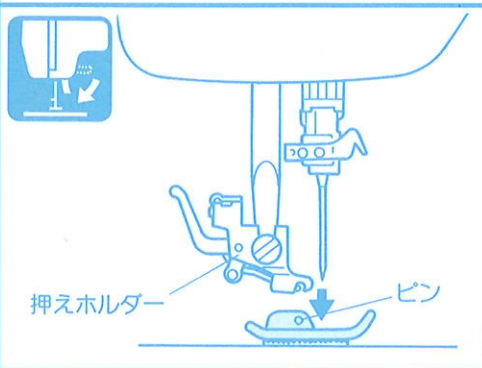


■押え付けの替え方



■取りはずし方

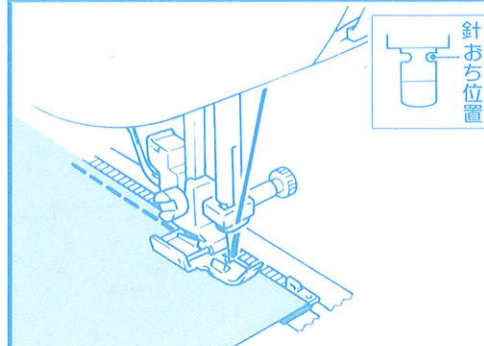
押えを上げ、押えホルダーのレバーを押します。



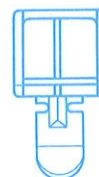
■取り付け方

押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げます。

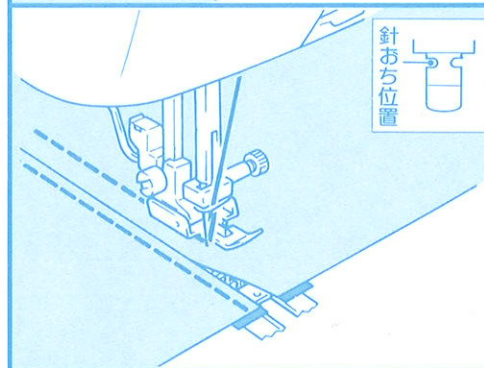
■片押えの使い方



●模様番号く2にセットします。

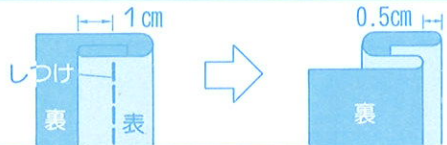


1 押えホルダーを片押えの右側に付け、打ち合わせの下になる方を先にぬいます。

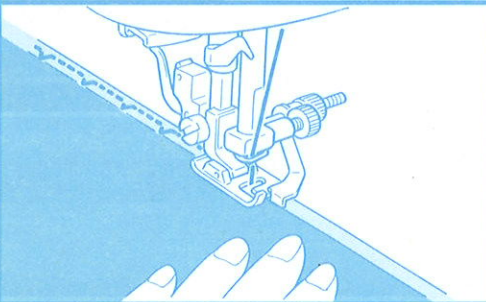
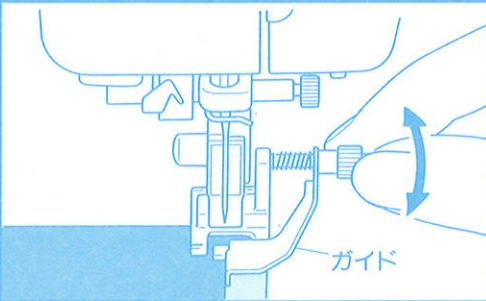
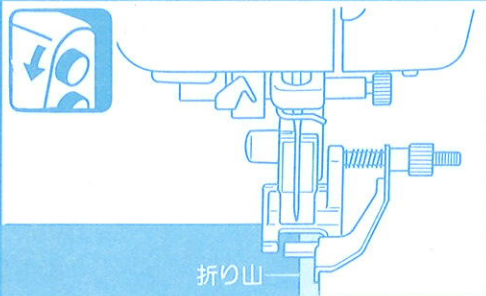
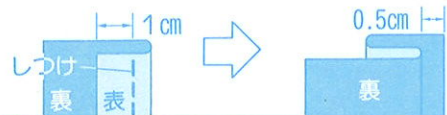


2 押えホルダーを片押えの左側に付け変え、打ち合わせの上になる方をぬいます。

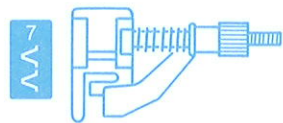
■まつりぬい押えの使い方



■厚い布地の場合



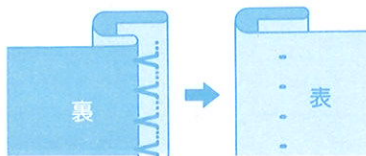
- まつりぬい押えに付け替え、模様番号<7>にセットします。



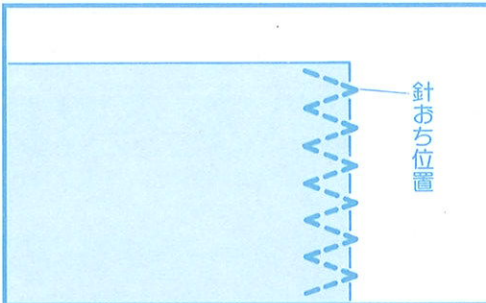
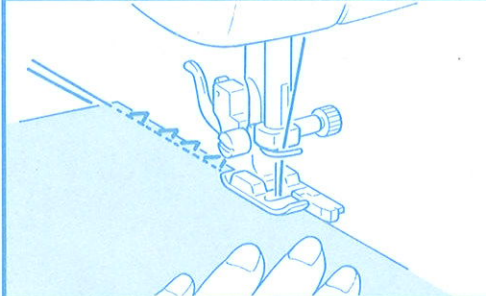
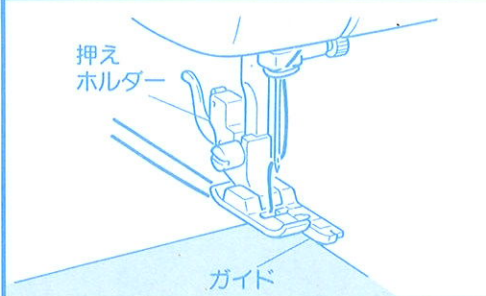
- 1 布地を折ります。
- 2 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットします。

- 3 折り山にガイドを合わせます。

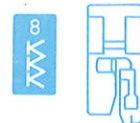
- 4 ぬい始めたら、折り山のガイドに合うように手を添えます。
- 5 表に返します。



■裁ち目かがり押えの使い方

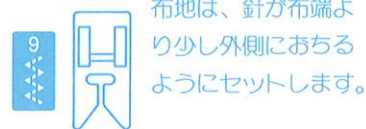


- 裁ち目かがり押えに付け替え、模様番号<8>にセットします。

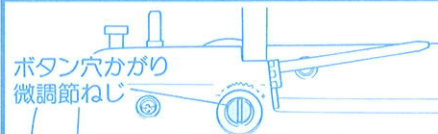


- 1 押えガイドに布端が合うように布地をセットします。
- 2 ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。
 - 裁ち目かがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下(裏)に出る場合があります。

- のびる布地の場合は必ずジグザグ押えに付け替え、模様番号<9>にセットします。



ボタン穴かがりのぬい目調節



- 1 ぬい目の長さ調節ダイヤルを<F>に合わせ、模様をぬいます。



■ボタン穴かがり押えの使い方●必ず試しぬいをしてください。

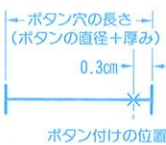
■たてのボタン穴かがり

シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。



■横のボタン穴かがり

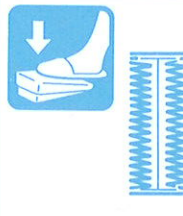
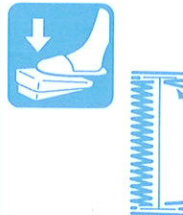
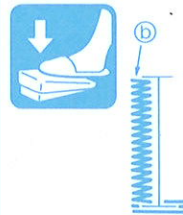
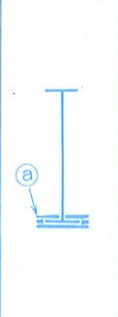
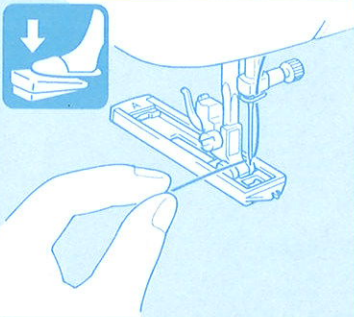
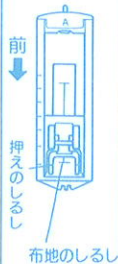
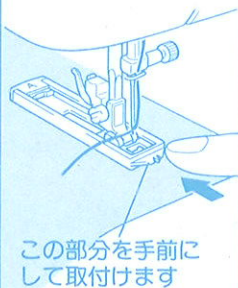
丈夫なので、ほとんどの服に使われます。ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。



1 ボタン穴かがり押えに付け替え、模様番号<ac>にセットします。

2 布地を入れ、押えの穴にボタン穴のスタート点を合わせ押えをセットします。

3 上糸を持ってスタートします。5～6針かん止めをします。針が◎の位置におちたときにストップさせます。



4 模様番号をにセットし、しるしまでぬいます。

針が◎の位置におちたときにストップさせます。

5 模様番号を<ac>にセットし、5～6針かん止めをします。

針が◎の位置におちたときにストップさせます。

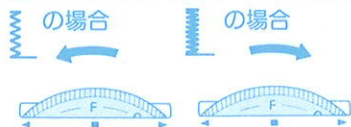
6 模様番号を<d>にセットし、しるしまでぬいます。

針が◎の位置におちたときにストップさせます。

7 糸端を裏で結びリッパーで切り開きます。

●ぬい糸を切らないように注意してください。

2ぬい目の長さ調節ダイヤルを回し調節します。



ぬい目は、ぬい目の長さ調節ダイヤルで調節します。

3模様<d>をぬいます。4のぬい目と比べ、<d>のぬい目が合わないときはボタン穴かがり微調節ねじを回して調節します。



ぬい目は、ボタン穴かがり微調節ねじで調節します。

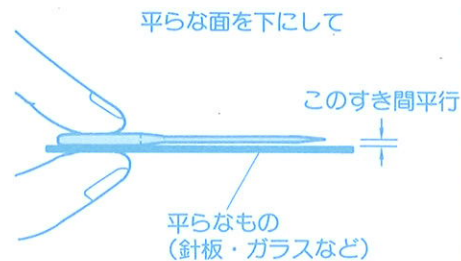
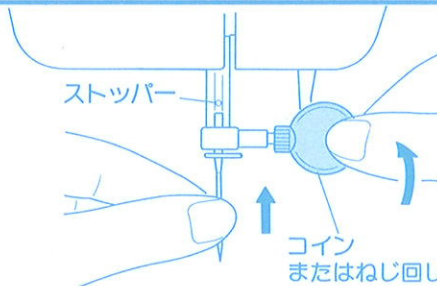
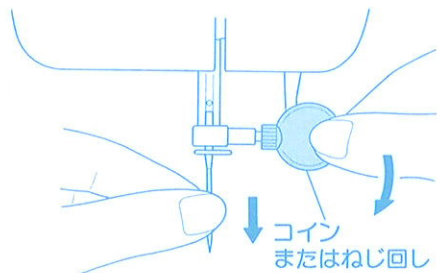
D

ミシンを大切に

停電について

- 運転中に停電が発生した場合。
- 電源プラグを抜いて下さい。
- 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

■ 針の交換



1 電源スイッチを切り、針を上げ、押えをさげます。

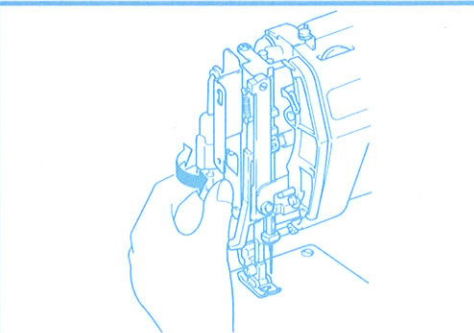
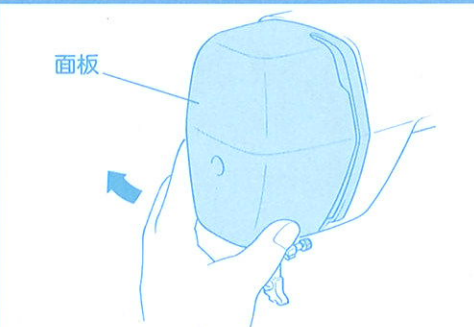
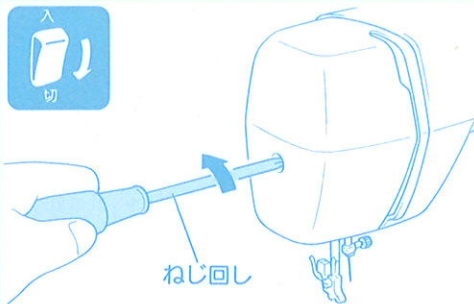
2 ねじをゆるめて針を抜きます。

3 針の平らな面をうしろにしてストッパーに当たるまで差し込み、ねじを締めます。

■ 正しい針の調べ方

■ ランプの交換

※ ランプ(100V、12W)は最寄りの販売店でお買い求めください。(部品コード 202322-050)



1 電源スイッチを切ります。

2 面板のねじをはずします。

3 面板を取りはずします。

4 ランプを交換します。

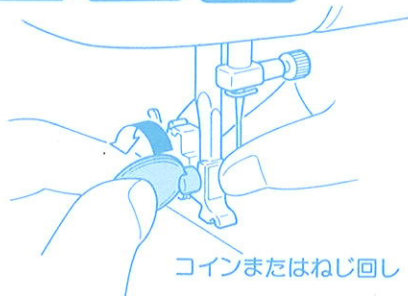
5 面板を取り付け、ねじを締めます。



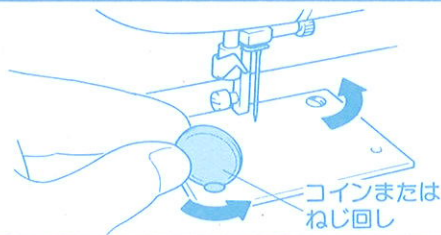
早見表

■お手入れ

- いつもきれいに かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水を浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふき取ってください。ストーブやアイロンは近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。
- ミシンの大敵

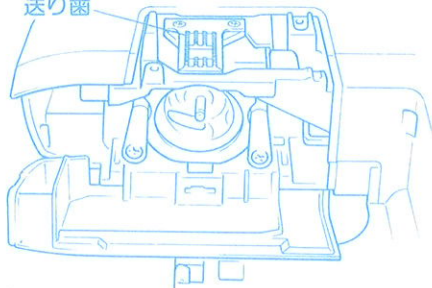


コインまたはねじ回し



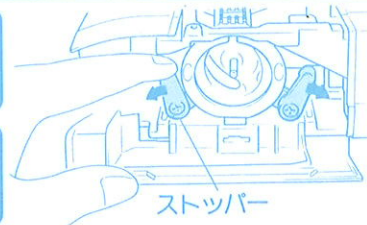
コインまたはねじ回し

送り歯

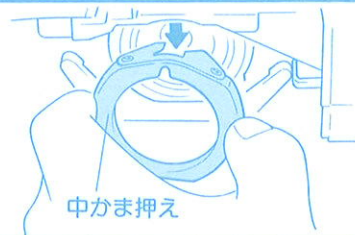


送り歯の掃除

- 1 電源スイッチを切り、押えと針を上げます。
- 2 押えホルダーを取り外します。
- 3 針板を取りはずします。
- 4 送り歯を掃除します。針板と送り歯の間は、糸くずやほこりがたまりやすく、故障の原因になる場合がありますので、ブラシなどでいつも清潔にしておきましょう。
- 5 針板を取り付けます。



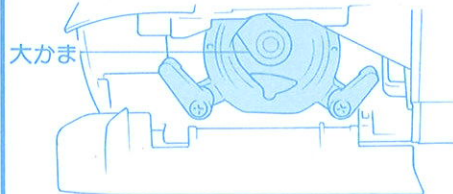
ストッパー



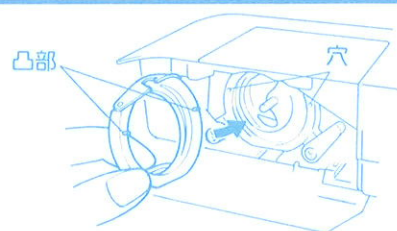
中かま押え



中かま



大かま



凸部

穴

かまの掃除

- 1 電源スイッチを切り、針を上げます。
- 2 ストッパーを開きます。
- 3 中かま押えを取りはずします。
- 4 中かまを取りはずします。
- 5 大かまを掃除します。
 - ほこりや糸くずなどを取り、ミシン油を少し含ませた布できれいにふきます。
 - 中かまも同じように掃除します。
- 6 中かまを取り付けます。
- 7 中かま押えの凸部を大かまの穴に合わせて取り付けます。
- 8 ストッパーを閉じます。

注油



- 注油するときは必ず電源スイッチを切ってください。
- 毎日数時間ご使用の場合は、1週間に1回ミシン油を注油してください。
- 矢印の箇所付近に付着した油は布できれいにふき取ってください。

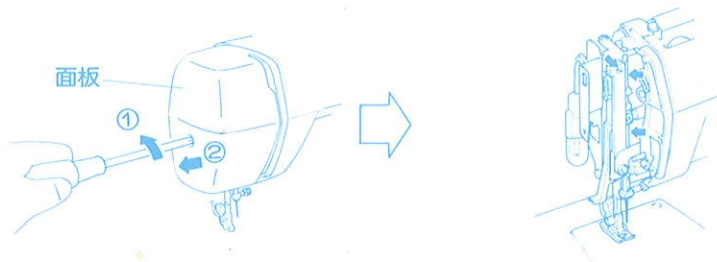
■ 2箇所のねじをゆるめ、針板をはずしてください。



コインまたはねじ回し

※注油後、空転させてください。

■ 1箇所のねじをゆるめ、面板をはずしてください。



糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地		薄地		厚地		のびる布地		ほつれやすい布地		ステッチ糸の場合				
	ブロード	タフタ	ギャバジン フラノ	ローン	シヨゼット	ポーラ	デニム	コアロイ	ツイード	フェルト	ジャージ	カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	用ニット糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60 〜 80	60 〜 80	50 〜 80	60 〜 80	60 〜 80	50 〜 80	40 〜 50	50	50		0 〜 80	50 〜 80	50 〜 80	30	30
針太さ	11~14		9~11		14~16		ゴールド針 11~14		9~14		16~18				

ぬい方早見表

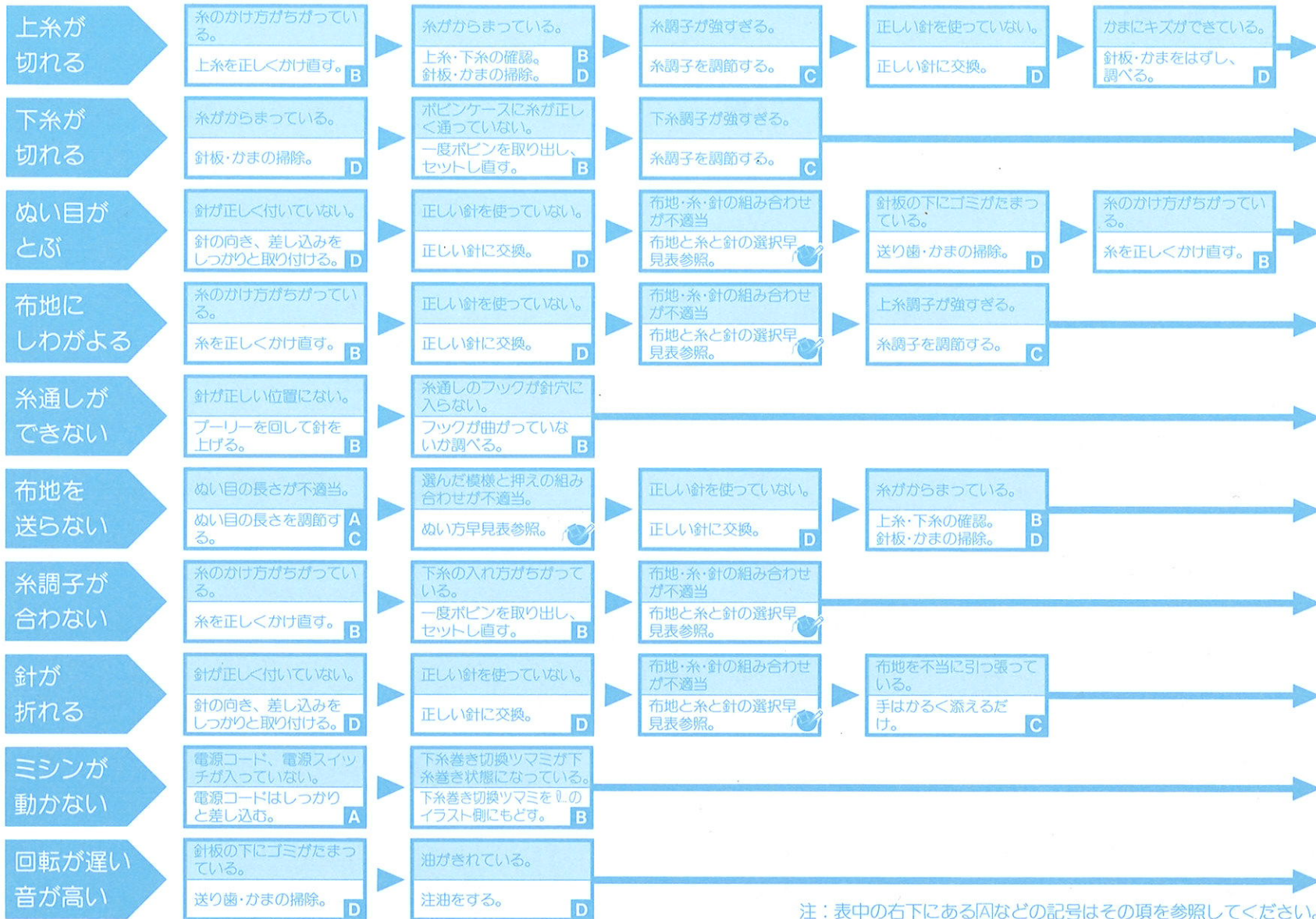
模様の種類	直線		三重ぬい	ジグザグ			裁ち目かがり		まつりぬい	直線	ボタン穴かがり	
模様番号	1	2	3	4	5	6	9	8	7	2	a→b→c→d	
選択模様	⊖	⊖	≡	⚡	⚡	⚡	⚡	⚡	⚡	⊖	a c b d	
押え記号				J				G	L	I	A	
主な用途	薄地・ステッチ	普通地・厚地	強力地ぬい	節りぬい	バッチワーク	その他 裁ち目かがり	裁ち目かがり (のびる布地)	裁ち目かがり	まつりぬい	フラスナー付け	その他 ピンタック おとしミシン	ボタン穴かがり

ぬう前の知識

A

■トラブルチェック

ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。



注：表中の右下にある☐などの記号はその項を参照してください。

●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの販売店にお申し付けてください。

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことから守ってください。

⚠ 警告

- 一般家庭用電源100Vでご使用ください。
 - 以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用した後
 - 運転中に停電したとき
- ※過熱や火災の原因となります。

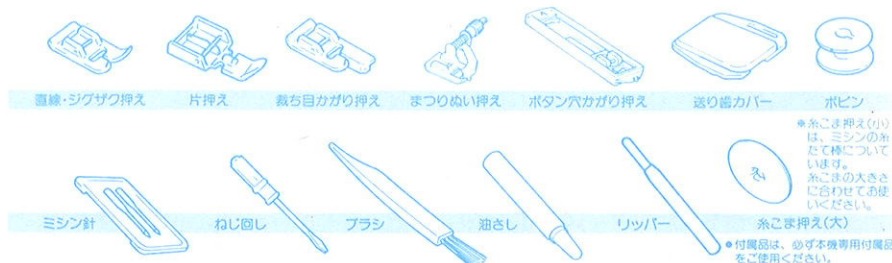
⚠ 注意

- お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
- 電源コードの接続には、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。
- ミシンの換気用の穴をふさがないでください。
- ミシンの換気用の穴やコントローラーに糸くずやほこりがたまるないようにしてください。
- コントローラーの上にものをのせないでください。
- ミシンの内部に異物をいれたり、ドライバーなどを差し込まないでください。
- ミシンに水などをこぼさないでください。
- スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を扱っている場所ではご使用にならないでください。
- 屋外またはストーブやアイロンのそばでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0℃～40℃です。
- 以下の場合にはミシンのご使用をすみやかにおやめになり、お近くの販売店またはプラーのサービスセンターにて修理または調整をお受けください。
 - 電源コードまたは電源プラグが破損したとき
 - 正常に作動しないとき
 - 落下などにより破損したとき
 - ミシンが濡れたとき

- ミシン操作中は、針から目を離さないようにし、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に對し注意を払ってください。
- 針の周辺で以下のことをするとき、必ず電源を切ってください。
 - 針に糸を通すとき
 - 下糸をセットするとき
 - 針を交換するとき
 - 押えを交換するとき
- 取扱説明書に記載のある整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ミシンには正規の部品をご使用ください。
- 曲がった針はご使用にならないでください。
- 縫製中に布をむりに引っ張ったり押したりしないでください。
- ランプが切れたときの交換は、ガラス部分が熱くなるまで待つてから行ってください。

このミシンは日本国内向け家庭用です。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

付属品



■アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証書期間は、お買い上げ日より1年間です。
(詳しくは保証書をご覧ください)
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りの販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有していません。
 - 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談コーナー」へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

札幌	011(737)6821	大阪	06(768)3651
仙台	022(239)3705	倉敷	086(473)0355
新潟	0250(43)4451	広島	082(227)5781
東京	03(3265)8741	福岡	0942(44)7921
名古屋	052(962)7631		

株式会社 **ジューキ** 取扱店

本社/〒102 東京都千代田区九段北1-11-11

114-394
191394-252
9505①